

地域に根ざし、森の力を電気にかえる 循環型事業を目指して [八戸バイオマス発電株式会社]

八戸バイオマス発電(株)は、住友林業・住友大阪セメント・東日本旅客鉄道の出資により設立されました。同社は、石油や石炭などの化石燃料を使用せず、木質チップ(砕いた木材)などのバイオマス、つまり生物由来の資源だけを燃料として発電しています。このように木から作ったバイオマス燃料を燃やすことで出るCO2は、木の成長過程で光合成により大気中から吸収されたものなので、循環型林業を続けていけば、大気中のCO2は増加しません。燃料は全て隣接するみちのくバイオエナジー(株)が調達・生産するほか、燃焼過程において排出された燃焼灰は、住友大阪セメントのグループ会社である八戸セメント(株)によりセメント製造原料として活用。地域に根ざし、森の力を電気にかえる循環型事業を目指しています。



伐り、使い、また植える。求む、山と生きる人。 [みちのくバイオエナジー株式会社]

みちのくバイオエナジー(株)は、三八・上北・下北をはじめとした地域から原木、チップ(砕いた木材)、パーク(木の皮)などを集荷、加工し、燃料として八戸バイオマス発電に供給しています。

森林が国土面積の70%を占める日本では、建築資材や紙などの原材料として木材が幅広く利用されていますが、枝葉や根元の曲がった部分、細い間伐材などは、用途がなく、林地に捨てられていました。そこで同社は、これまで価値のなかった地元の林地未利用木材を発電用燃料として有効活用しています。これは、伐採跡地での植林作業を楽にすることにも繋がり、木を伐り、使い、また植える循環型林業の推進にも寄与しています。同社が利用する木質バイオマス資源の集荷には地元の伐採業者や森林組合の協力が必要不可欠です。そこで、みちのくバイオエナジー(株)は、「木を伐りたい、植えたい」「山の仕事がしたい」「大型車を運転したい」といった興味をお持ちの方に協力業者の職場を紹介させていただいています。興味のある方は是非ご連絡ください。

会社概要

■八戸バイオマス発電株式会社

〒039-1161 青森県八戸市河原木字浜名谷地 76-370

操業開始年月 2018年4月 従業員数 5名

会社概要

■みちのくバイオエナジー株式会社

〒039-1161 青森県八戸市河原木字浜名谷地 76-370

Tel.0178-20-7681 Fax.0178-20-7682

操業開始年月 2018年4月 従業員数 3名

先輩の 声

朝6時から午後3時までが定時。 保育園のお迎えに行き帰ります

2017年10月に林材センターに入社しました。その前から木材運搬をしていたので、木材関係の業界で経験はのべ5年ほどになりますね。その前は長距離トラックに乗って運送の仕事をしていました。子どもが生まれて、夜勤く長距離の仕事辞めて、大型・大型特殊自動車と車両系建設機械運転者の資格を活かせる仕事を探して、今の会社に入りました。今の生活は、朝6時から午後



3時までが定時。仕事の後はだいたい保育園のお迎えに行き帰ります。朝早いのが大変だけど、昼間、木においがするところで働いて、前より健康になった気がします(笑)。重機や車が好きな人、自然が好きな人にはいい仕事じゃないかな。

山の男は健康的!

(株)林材センター
[みちのくバイオに納入する木材の運搬業者]
金澤 毅さん(38)
五戸町出身・八戸市在住 [2017年入社]

